

令和6年度

第2回岐阜県スマート農業推進協議会

議事要旨

開催日時：令和7年3月24日

開催場所：岐阜県シンクタンク庁舎 5階

大会議室

令和6年度 第2回岐阜県スマート農業推進協議会 議事要旨

1 開催日時：令和7年3月24日（月） 15：00～16：00

2 開催場所：岐阜県シンクタンク庁舎 5階 大会議室

3 出席者：別添「出席者名簿」のとおり

4 内容

(1) 令和6年度のスマート農業の取組状況について

<事務局から説明>

【主な質疑・意見等】

松下委員 スマート農業機械・貸出事業について、貸し出した後の効果検証はされているか。

(事務局) 貸し出した際の農業者の評価は確認しているが、その後の追跡調査はできていない。今後追跡し、効果を評価したい。

松下委員 アンケート調査で購入希望などの意向を確認するとよい。利用が少ない機器については対応を検討されたい。

座光寺委員 農業DX指導者の育成者数について、令和7年度目標の15というのは、その年の育成目標を示すのか。

(事務局) 目標の数字は累計人数である。ただし、人事異動等により、全ての指導者が指導についている状況ではない。

座光寺委員 異動された方を補完する仕組みづくりも必要である。

小竹委員 新技術の研究について、食味値の精度について説明いただきたい。

中山間農業研究所 具体的な精度はお答えできないが、人工衛星画像から収穫前のセンシングデータから、高い精度の食味値が推計できるシステムを構築、農業者はアプリから確認できるというもの。

高木委員 目標項目①スマート農業技術導入経営体数について、導入されている品目や技術などの分析データがあれば後ほど頂きたい。

(事務局) 詳細なデータを会議後に提供する。

林委員 貸出事業について、前年度と同じ方が利用している割合、リピート率はどれくらいか。

(事務局) 市町村やJAでは複数回利用する実績はあるが、農業者については、同じ機械を複数回利用した実績はない。

(2) 令和7年度のスマート農業推進施策について

<事務局から説明>

【主な質疑・意見等】

- 松下委員 農業未経験者に向けたスマート農業実践研修会について、副業を志す農業未経験者をどの様に募集するのか。
- (事務局) 募集はチラシやHPなど県広報を活用する予定である。また、就農を希望される方への講座等の参加者にも案内する予定である。
- 嶋津委員 副業というのは、既存の生産者の農業を手伝うイメージか。
- (事務局) そのとおり。オペレーター人材の育成を目標としている。
- 松下委員 ドローンの操作は年々難しくなっているが、この研修でドローンの操縦ができるようになるのか。
- (事務局) ドローンの操縦は、別途ドローンスクールなどの講座を受けていただくことを想定している。ドローンによる農作業がどんなものか関心を持っていただくための研修の位置づけである。
- 松下委員 ドローンの免許取得にハードルが有ると思われるため、そうした取り組みへの補助も検討されるとよい。
- 嶋津委員 農業以外にドローンを扱われる事業者の方にも研修会を案内するのか。
- (事務局) 農業用ドローンは専用機のため流用はできないが、ドローンの操縦経験のある方は、農薬等の知識と農業用ドローンがあれば即戦力となると考えている。
- 山田委員 スマート農業機器の導入支援について、補助事業の実施を要望されている方は全員補助の対象となっていると考えてよいか。
- (事務局) スマート農業技術導入支援事業については、予算の2倍以上の要望があり、目標ポイントなど優先順位をつけて採択しているため、採択できなかった方もある。
- 森委員 スマート農業技術導入支援事業で事業を実施された方はスマート農業技術導入経営体数に反映されるのか。
- (事務局) 新規でスマート農業技術を導入された場合、導入経営体数に反映される。

(3) 農業者キャリアアップ研修計画について

<事務局から説明>

【主な質疑・意見等】

嶋津委員 コストが高いという意見について、その方の経営にとって規模が合わずにコストが高いということか。

(事務局) アンケートの結果であるため、経営規模に見合わない機械を求められてのコストが高いという意見であるかは分からない。一般的には同等の能力の機械で比較し、スマート農業機械は高いという意見をよく受けている。また、スマート農業機械は大型の機械が多く、区画の小さいほ場が多い中山間地域などでは、スマート農業機械を活かせず割高であるという意見も受けている。

嶋津委員 農業者の方にどう伝えていくのが重要である。

(事務局) 農業者の方にどの規模のどの機能のスマート農業機械が必要であるかは普及指導の中で助言していく。そうしたアドバイスができるよう普及指導員の研修を進めていく。

(4) R6スマート農業実証プロジェクトの実証結果について

<事務局から説明>

【主な質疑・意見等】

(特になし)